

## 第 34 回 奈良県河川整備委員会議事概要

- 1 日 時：平成 18 年 4 月 19 日
- 2 場 所：奈良県文化会館 2 F 集会室 A B
- 3 出席者
  - 委員 8 名：朝廣佳子、岩本廣美、岡田伸子、御勢久右衛門、中川一、前迫ゆり、三野徹、和田萃（五十音順、敬称略）
  - 事務局 4 名：奈良県 板屋河川課長 ほか
- 4 議事要旨
  - (1) 第 3 2 回奈良県河川整備委員会の議事概要の確認
  - (2) 第 3 3 回奈良県河川整備委員会（現地視察会）の報告
  - (3) 吉野川の現状と課題（環境・利水）
  - (4) その他
- 5 議事内容（主な意見）
  5. 1 第 3 2 回奈良県河川整備委員会の議事概要の確認
    - 第 3 3 回奈良県河川整備委員会（現地視察会）の報告
    - ・特になし
  5. 2 吉野川の現状と課題（環境・利水）
    - ・動植物調査結果の確認種は調査した一部か、あるいは調査したすべてをあげているのか。また、調査は外注か。  
→調査の結果についてはすべてのものを記載している。調査は専門の業者に委託した。
    - ・現地視察で確認した種が入っていないものがある。この調査法が本当に確かなものなのか。  
→次回、調査手法等について報告する。
    - ・近年吉野川の水量が減っている。それはどういう理由か。例えば林業政策と関係があるのか。そのようなデータがあるなら提出してほしい。漁業面からも水量を増やすことが望まれる。  
→水量に関しては、紀の川だけではないと思う。その背景を探ってみると、雨の降り方が変わってきて平常時の水が減っている傾向がある、昔に比べて雪が減ってきた、森林の管理の状況が変わってきた、流域の森林相の変化（広葉樹林の面積が減少し、杉、桧等の森林面積の増加）、全般的にはそういう原因が考えられるが、紀の川流域でどれだけデータがあるのかを整理し、今後報告する。
    - ・吉野川の水質のきれいさは全国的に見て何番目か。  
→水質は、流域全体を見て再度補足する。
    - ・吉野分水に関して、水田の面積は事業当初から 1/3 ぐらい減っていると思われる。それなのに同じ量が分水されているという問題がある。
    - ・1 m<sup>3</sup>/s で何人の上水がまかなえるのか。  
→上水の原単位を整理して報告する。
    - ・漁獲量は漁家が申告したもののみを扱っているのか。いま漁家は何軒あって、専門的な漁家の割

合はどの程度か。さらに10年前、20年前のデータではどうなのか。

→データを再度整理する。

・日出岳は、「大台ヶ原山」と呼んでいるので、括弧して明記しては。

大台ヶ原山の冬季の積雪量、降水量のデータがあれば示してほしい。

→大台ヶ原山、高見等の冬季のデータは、国交省のデータなどを収集し整理する。

・森林の荒廃が保水力にどう影響するのかといったデータがあれば示してほしい。

→資料を収集する。

・宮滝のポットホールは自然遺産と思う。保存の措置が望ましい。地質を専門家に確認してみてもは。

→ポットホールの地質については確認する。

・川とかかわって生活している流域住民に関する資料を載せてほしい。例えば紙すきやいかだ流しなど。

・森林管理というのは河川法ではできない。河川整備の枠外になると思う。河川整備計画の20～30年の計画を立てる際の森林管理に関する県の考え方を聞きたい。

→庁内の関係部局と、特に森林部局と情報交換しながら将来の整備のそれぞれの役割分担のもとで対策を検討していく。

・30年前から森林の構成は変わっていない、という表現はおかしい。山の状態を見ると非常に大きく変わっているのが現状だ。人工林のいまの有り様を分析して示してほしい。

また、切り倒した間伐材はそのまま放っておくと聞いているが、流木で河川への影響があるのでは。

→森林に関するデータは、例えば森林従事者の傾向など可能な限りデータを収集する。

→流木については関係部局と今後の対応について情報交換等をしてゆく。

・宮滝の住民によれば、大迫ダムができてから随分、水量が減ったという。大迫ダムができる前後の流況のデータがあるなら今後示してほしい。また、大滝ダムについても同様のデータを示してほしい。

→発電によるバイパス、河床低下の影響等も考えられる。取水堰、発電所の位置、建設年等を整理し報告する。

・吉野川分水に関して、かんがい期だけでなく常時、盆地部へ流すことは無理なのかどうか。

→本日は、課題ということにしたい。

・吉野川沿川の開発にともなう河川水質への影響はないのか。大川橋で年によって変動が見られるのは、原因がわかっているのか。また、民間の開発の資料を整理しては。

→大規模開発については水質浄化の審査を経て許可されているので、影響はない。

→大川橋の変動に関しては、確認する。

・吉野川で最近アユの漁獲が減っているのは、一つは河川工事で早瀬をつぶしてしまうからとも言われている。そういうことも踏まえながら、この委員会を進めてほしい。

・沿川の民俗等を盛り込んだ環境情報図をつくってほしい。

以上